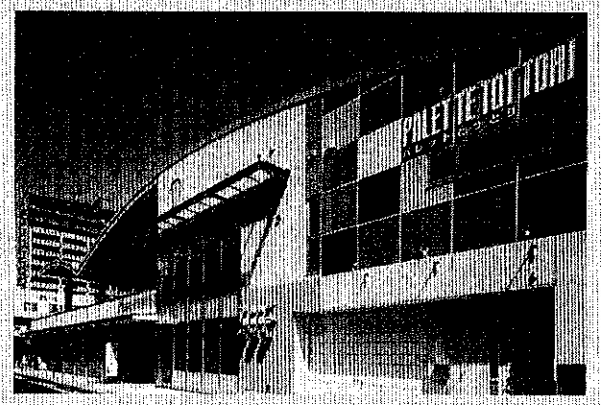
他市の事例を見てみよう！1

鳥取市の場合

本通商店街は、鳥取市中心市街地の商店街のひとつで、鳥取駅から県庁までを結ぶ国道５３号線の中心に位置する商店街。

平成１７年には、集客力のある魅力的なテナント構成の商業施設の整備と併せて、市民交流の拠点となるような市民交流ホールをもつ「パレットとっとり」を、中心市街地活性化の重要拠点として位置づけられた弥生町の地元銀行跡地に建設するなどし、にぎわいとふれあいの場を新たに提供し、市民に愛される商店街を目指している。



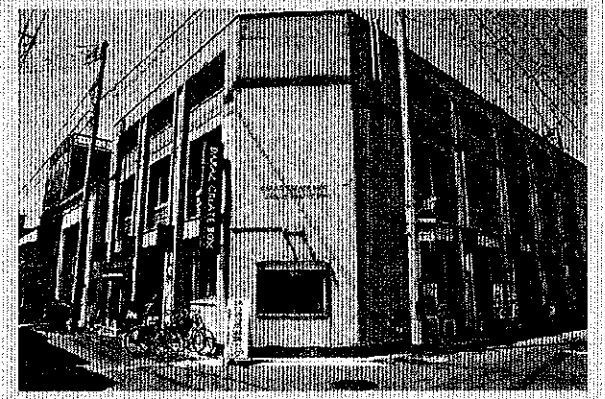
他市の事例を見てみよう！2

米子市の場合

ＮＰＯが出資者となって、平成２１年に株式会社ＤＡＲＡＺ(ダラズ)が設立される。

ＤＡＲＡＺでは、法勝寺町にある旧銀行の重厚感のある建物をリノベーションし、コミュニティＦＭのスタジオやカフェ、ショップなどからなる複合商業施設「ダラズクリエイトボックス」を運営。

このほかにも近隣に複合商業施設が２つオープンし、にぎわいトライアングルゾーンを形成している。いずれも既存の資源を活用するかたちで、にぎわいの拠点をつくっている。



倉吉市中心市街地活性化基本計画とは

中心市街地活性化基本計画とは、「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく計画で、市町村が策定する計画です。

この計画が国に認定されると、計画に挙げられた取り組みに対して、国から支援を受けられるようになります。

特に、民間事業者が市民のニーズに応え、国から直接支援を受けながら計画に掲載された事業を実施することで、活性化へとつながっていきます。

倉吉市では、中心市街地活性化のため、活気あるまちづくりの目標やその実現のための具体的な事業などを取りまとめた基本計画を作成し、平成27年6月の認定を目指しています。

【基本的な方針(案)】

■安全・安心で快適に暮らせる生活中心のまちづくり

■生活文化の薫る歴史的な街並みを活かした観光・交流拠点のまちづくり

■都市型産業の育成やビジネス創出へとつながるまちづくり

【目標(案)】

■持続的に住みたくなるコンパクトで暮らしやすい生活環境を備えたまち

■歴史的・文化的資源の魅力を高め、既存の観光資源との連携を図った回遊型の観光地として交流人口を呼び込むまち

■既存業種を維持しながら、小規模でも高付加価値な事業活動を創出するまち

多様な民間主体が参画 倉吉市中心市街地活性化協議会

「倉吉市中心市街地活性化協議会」は、倉吉商工会議所と、まちづくり会社*である株式会社赤瓦によって平成26年10月16日に設置されました。

この協議会は、中心市街地活性化基本計画の策定において意見を述べ、活性化に必要な取り組みについて協議し、幅広い意見を反映させながら、基本計画に掲げる目標の実現を目指します。

現在、協議会には、基本計画に掲げる事業の推進や関係者相互の意見調整、民間事業者や市民の主体的な取り組みに対して地域に密着したサポートなどを行い、中心市街地の活性化をマネジメントするタウンマネージャーを設置しています。

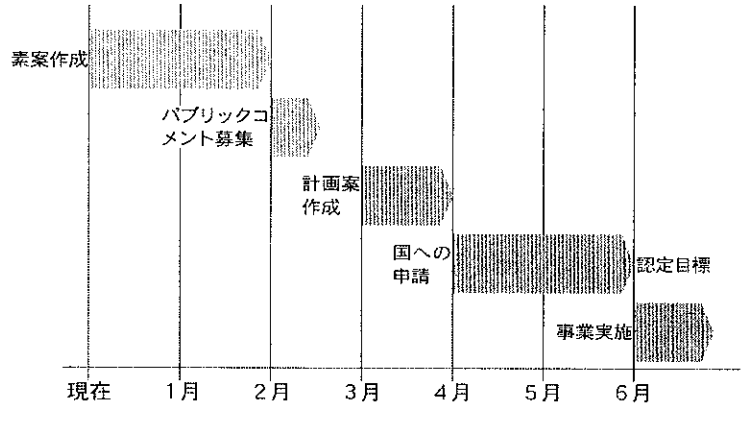
今後、協議会は、民間事業者、市民、市などとの協働により、中心市街地の活性化を総合的かつ一体的に推進していくタウンマネジメント組織として倉吉市の発展を牽引していきます。

＊まちづくり会社とは、まちづくりの推進を図る事業を行うために設立された会社

▼まちづくりは、みんなで取り組むことが必要。協議会は、関係者の調整役。

▲倉吉市中心市街地活性化協議会設立総会の様子（10月16日）

基本計画認定へ向けた今後のスケジュール



倉吉市の魅力と可能性をさらに生かす
～タウンマネージャーが考える活性化とは～

麻田雄一

昭和５５年１２月５日生まれ。三朝町出身。

倉吉東高～東京大学。東京で会社役員を務め、株式投資業のＩＴベンチャー勤務時にリーマンショックを経験、Ｕターン。平成２１年よりＮＰＯ法人未来事務局長。平成２６年１０月より倉吉市中心市街地活性化協議会タウンマネージャーとして活動。

歌うように生きる

「生」を謳歌するという言葉があります。ここに住む地域の皆さんが、日々の生活や仕事の中で幸福感や楽しさを実感できる、そんなまちになることが私の願いです。

タウンマネージャーとして、まずは、まちの人や事業者さんの「声」をたくさん聞くことからスタートしたいと思います。その声をどうまちづくりに届けるかが大切です。

さらに、中心市街地活性化基本計画を実効あるものにするためにも、場当たり的な事業の羅列ではなく、背骨となる方向性について、しっかりと討議をしていこうと思います。

倉吉市の魅力と可能性

私が、倉吉市に可能性を感じているのは、「高齢者の住みやすい街(東洋経済)」、「住みやすい街(田舎暮らしの本(宝島社))」、「ふるさと納税」などで、すでに評価されている魅力的な街であるというところです。

また、県外や外国人観光客などからも、「世界中で日本にしかない風景」と評されることがあります。倉吉には、日本を代表する世界にはない町並みが残っているのです。

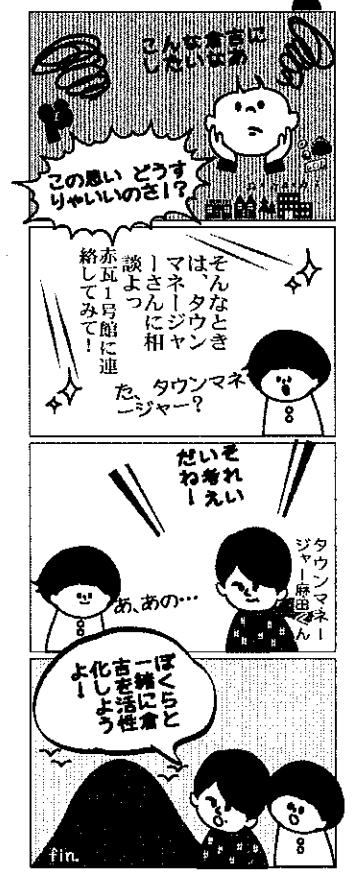
こうした評価を生かし、都会の人が進んで倉吉市を選び、地域の人が誇らしく愛着をもって生きていけるようなまちづくりを目指したい思います。

今何もしなければ、もしかしたら20年先にはなくなってしまうかもしれないこの「美しい倉吉」を、私たちの世代はこれから先も大切な財産として、新しい息を吹き込むことを通じて、残していかなければなりません。

皆さんが力を合わせ、これから始まる中心市街地活性化の取り組みを進めていきましょう。

終わりに

このように中心市街地活性化の取り組みには、市だけでなく民間事業者、市民などが一体となって進めていく必要があり、みなさんが地域ぐるみで参加・協力することがとても重要です。

あなたも積極的にまちづくりにかかわってみませんか。

タウンマネージャーさんに相談だ！